

予兆検知装置の導入で、 大型車車輪脱落事故ゼロへ。 安全な運行を支える、 プラスアルファの 「安心」を。

車輪脱落 予兆検知装置 導入企業 インタビュー

車輪脱落事故防止に向け、国による支援も始まり、「車輪脱落予兆検知装置」の導入が広がっています。現場の声を通じて、導入効果や活用状況をご紹介します。

やっぱり 安心感じゃないですか。

私たちが一番大切にしているのは、当たり前前、点呼前には必ず日常点検を行います。毎朝、点呼前には必ず日常点検を行います。タイヤ交換の際には錆を落として、潤滑油をきちんと塗る。何かおかしいと感じたら、運行中でもすぐに整備担当へ連絡するよう、ドライバーには日頃から伝えていきます。

車輪脱落予兆検知装置を知ったきっかけは、取引先からの紹介でした。以前、車輪の脱落による痛ましい事故のニュースを目にしたこともあり、車輪脱落は、人命に関わる重大な事故につながる



株式会社明和運輸 九戸営業所
所長 武尾 雅樹 様

という強い危機意識を持つていました。そうした中でこれからこうした安全装置がスタンダードになっていくのではないかと話もあり、整備担当や社長とも相談して、営業所の20台に導入することを決めました。

もちろん、装置を導入したからといって、これまでの日常点検を変えたわけではありません。「装置があるから点検をしなくてもいい」ということではなく、あくまで日々の点検に加える「プラスアルファ」の安全対策だと考えています。毎朝、自分の目でしっかりと確認し、さらに走行中は装置にも車輪の状態を見守ってもらう。ドライバーにとって安心材料が一つ増えることで、より安全な運行につながればと思っています。

安全を支える技術は、これからも進化していくと思います。新しい技術や装置について情報を得たときには、整備担当やドライバー、メーカーの皆さんと相談しながら、自分たちの現場に必要なものを見極め、積極的に取り入れていきたいですね。



予兆検知装置受信機

安心要素が1つ増えたことによって、 運転に集中できるようになりました。

日々、自分の目でしっかりと点検していますが、走っている間は車輪を見ることができません。実際に走行中、装置のアラームでナットの緩みに気づき、すぐに停車して整備することができました。機械だけに頼るつもりはありませんが、常に見守ってもらえているという安心感は心強いですね。



株式会社明和運輸 九戸営業所
ドライバー 下條道 悠 様

安全への備えが、企業の信頼を育む。

車輪脱落事故を未然に防ぐことは、安全を守ることはもちろん、企業の信頼を守ることにもつながります。日常点検の徹底に加え、予兆検知装置の導入など、安全への多角的な取り組みが、お客様や社会から選ばれる企業づくりを支えます。

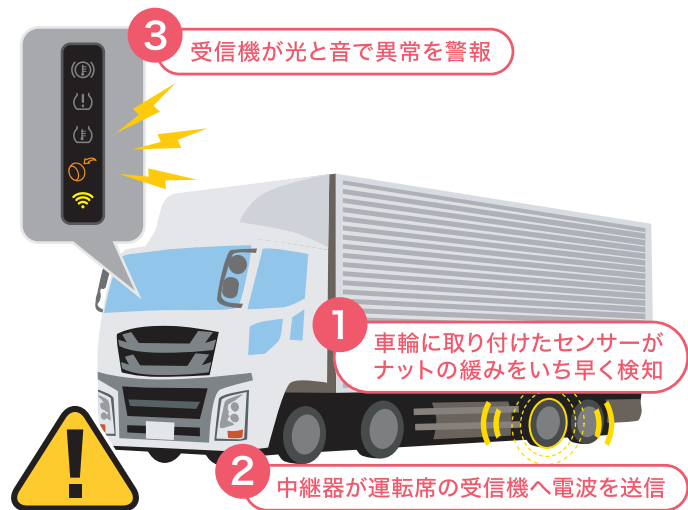
「車輪脱落予兆検知装置」導入のご案内

車輪脱落予兆検知装置とは？

大型車の車輪脱落事故はトラック走行中に発生することが多く、走行中にボルトやナットの異常に気づくことは非常に困難です。

この課題を解決するのが「車輪脱落予兆検知装置」。走行中のホイールナットに異常が発生し、車輪脱落の恐れが生じた場合、予兆をすばやく検知し、ドライバーに知らせます。

車輪脱落事故を防ぐことはもちろんのこと、日常業務で忙しいトラックドライバーの業務負担を軽減するのにも役立つ装置です。



※機能には限界があります。日常点検整備も併せて必ず励行ください。

装置の導入を支える補助金制度

国土交通省では「令和8年先進安全自動車（ASV）の導入に対する支援」の一環として、装置導入時の費用の一部を支援する補助金制度を実施しています。

一定の条件を満たせば、車輪脱落予兆検知装置費用の半減（※最大）が見込めます。この制度を積極的に活用して、事故防止に繋がていきましょう。

車輪脱落予兆検知装置補助金制度	
補助対象車両	車両総重量8トン以上のトラック 乗車定員30人以上のバス
補助上限	50,000円（後付け装置を含む）
補助対象装置	国土交通大臣が選定した装置
補助申請受付期間	2026/6/30（火）～ 2027/1/29（金）まで ※予算枠に達し次第終了となります。 早めの申請をお願いいたします。

詳しい情報はこちら ▶ <https://ataj-asv.jp/>

車輪脱落予兆検知装置は、車種・軸構成により適合が異なります。
導入を検討される場合は、お近くの大型車メーカー4社販売店にまずはお問い合わせください。

取り付けの可否、導入費用、補助金の対象可否など、どんなことでもお気軽にご相談を。